

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞ 「当院における限局性強皮症に合併する免疫疾患」に関する探索的観察研究
＜研究機関・研究責任者名＞ 日本大学医学部皮膚科 診療助教 井汲菜摘
＜研究期間＞ 機関の長の初回許可日 ～ 令和 8 （西暦 2026 ）年 3 月 31 日
＜対象となる方＞ 2014 年 1 月～2025 年 9 月までに皮膚科で限局性強皮症（斑状強皮症（モルフェア）、剣創状強皮症など）と診断された 18 歳以上の方です。
＜研究の目的＞ 限局性強皮症は限局的に皮膚が固くなる皮膚疾患で、斑状強皮症（モルフェア）や剣創状強皮症などの病型があります。しかし全身性強皮症とよばれる強皮症とは異なり、通常レイノー現象や内臓病変は伴いません。限局性強皮症の方も、抗核抗体や抗リン脂質抗体などの膠原病の自己抗体が陽性となることが知られていますが、実際に膠原病などの自己免疫疾患を合併することは稀とされています。 この研究では、当院で限局性強皮症と診断された患者さんのうち、どのくらいの方が免疫疾患の合併していたのかを検討します。さらに免疫疾患の合併に関わらず、自己抗体の検査を行っていた場合はその陽性率を調査します。
＜研究の方法＞ 臨床的及び病理組織学的に限局性強皮症と診断した患者さんの診療データを集計し、免疫疾患の合併率及び自己抗体の陽性率を検討します。
＜研究に用いる試料・情報の項目＞ 診療記録から年齢、性別、臨床症状、合併症、治療内容、X 線・CT・MRI 画像および読影結果、血液検査データ（血算、免疫生化学検査所見 例えば、白血球数、CRP、リウマチ因子、抗核抗体、自己抗体）、病理検査の情報を使用いたします。
＜お問い合わせ窓口＞ 日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1） 皮膚科 氏名：井汲 菜摘 電話：03-3972-8111 内線：（医局）2502 （PHS）8194

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方